

第2回

**小菅保育園・児童館の施設更新（子育て支援拠点施設の整備）説明会
参加者の方から頂いたご意見・ご質問について**

平成30年12月19日に開催した説明会にて、参加者の方から寄せられたご意見・ご質問に対して、葛飾区が回答した内容をまとめております。

保育園の園庭と定員に関するご意見・ご質問

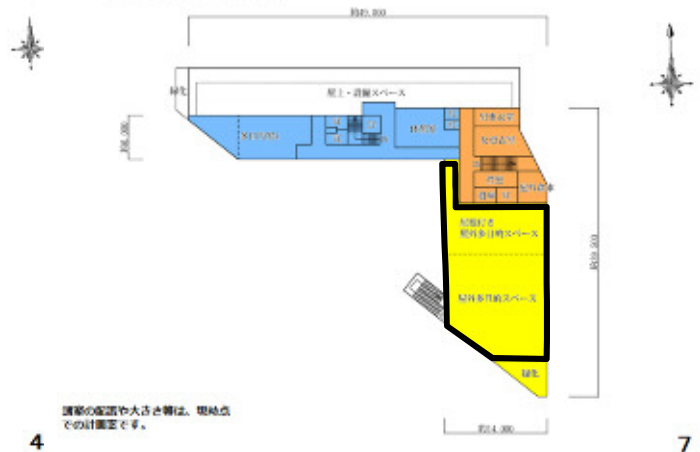
Q：園庭が狭くなる気がしますが、どれぐらいになるのでしょうか。

A：今の園舎（下左図、斜線部分）に比べて、新しい園舎は南側に伸びることから、園庭が現園舎よりも狭くなります。ただし、3階平面図の黄色スペース（下右図では、太線で囲われた部分）は、多目的の屋外スペースとして、今まで以上にスペースを確保しております。さらに、屋根付きの屋外スペースもあり、小さいお子さんが使える遊具も想定しています。（下図は当日説明会にて活用したスライド）

配置計画案



3階平面計画案



Q：今の保育園の定員が何名で、建替え後は何名ぐらいになるのでしょうか。また、将来子どもが減ってくると思いますが、そのことも考慮しているのでしょうか。

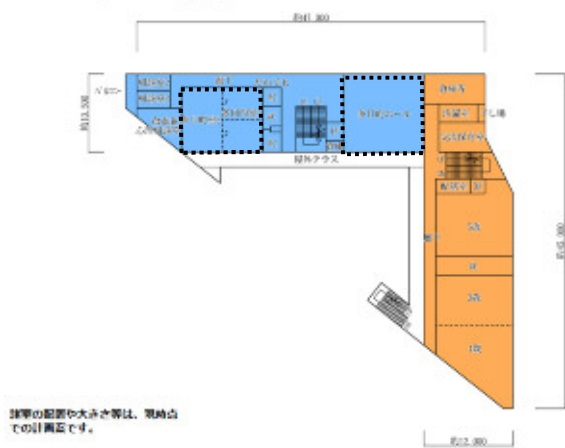
A：定員等について、今の小菅保育園は、1歳児からお預りをしておりまして、現在で106名の保育園となっております。建替えをした際は、0歳児からお預りする計画をしておりますので、例えば、12名定員を増やしたとして、定員の総数は増えることとなります。お子さんが区内全域で減ってきた場合には、他の公立保育園で調整をしながら、お子さんが通いやすいよう行ってまいります。

児童館で行う事業に関するご意見・ご質問

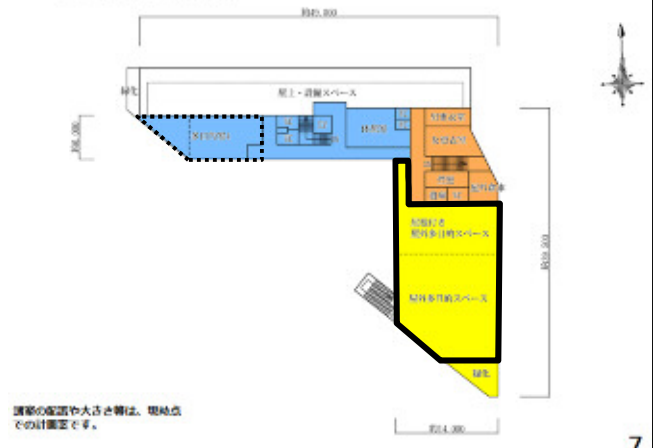
Q：児童館という名称が入っていない気がしますが、小学生の居場所はどうなるのでしょうか。支援が必要な赤ちゃん、お母さんの支援を重点的に行うようなご説明に感じました。小学生がふらっと行っても、そこに居場所があると感じられる建物になるのかなど。また、一日中、赤ちゃんとお母さんが居ることのできるスペースはどういったスタッフの方が対応するのでしょうか。

A：小学生への対応については、2階多目的室、3階多目的室④（資料では青色の部分）の活用を考えております（下図では、点線で囲われた部分）。また、屋外スペース（資料では黄色の部分）は、保育園の園児や、学校帰りのお子さんが共用して使えるスペースとして考えています。（下右図では、太線で囲われた部分）そちらについては、今の児童館職員が対応させていただきます。乳幼児の親子が一日いられるスペースは、1階の乳幼児専用室です。こちらも今の児童館で行っているものを、引き続き実施していくという考え方でございます。

2階平面計画案



3階平面計画案



Q：新しい建物では、多目的室がいくつかあり、今の児童館と同様に使えますとのことですが、普通の集会施設のように、時間貸し等は想定していないのでしょうか。いつもそこに行けば遊べて、指導員もいるという理解でよろしいでしょうか。

A：多目的室の一般への時間貸しについては想定しておりません。また、子どもたちが来られるような施設運営を予定しております。

Q：民間の保育園は園庭が無い等、公園に行って遊ぶなどしています。夏場は、公園遊びは無理な時に児童館で遊びたいとなりますが、そうした利用についてはいかがでしょうか。

A：今の児童館も地域の保育園と連携をしながら、様々なサービスを実施しているところです。新しい建物でも、地域とのネットワークを作っていくながら、地域を挙げて子育てを支援していく施設としても頑張っていけたらと思っております。

Q：今、町会の回覧板で、児童館の行事予定が回ってきます。それと同じような行事を今までどおりやってくれるという理解でよろしいですか。

A：行う事業については、種類、内容が今までよりも幅広いものになるかと思いますが、ご周知もさせて頂く予定でおります。

新しい施設に常駐する職員に関するご意見・ご質問

Q：新しい建物は、保育園のスタッフさんが独立していると思いますが、今の児童館のスタッフさん、保健師さん等、色々な方が常駐することになると思います。こういった方が常駐するのでしょうか。

A：保健センターについては、その機能全てが、新しい建物に入るというものではありません。今、乳幼児健診について、南綾瀬地区センターで行っています。そうした乳幼児健診については、月に5回程度、新しい建物の2階多目的スペース等を活用して実施してまいります。なお、成人健診については、新しい建物では行わない想定であります。そのため、保育園の保育士、児童館の児童指導のスタッフは常駐しておりますが、保健センターの職員は乳幼児健診時に出張する形になりますので、施設に常駐するものではございません。

保健センターに関するご意見・ご質問

Q：保健師さんは常駐しないということで、以前、小菅保健センターが無くなる時に、機能は残すとはっきりと耳に残っています。

A：保健センターにつきましては、様々な保健衛生環境が変化する中で、より区民に身近なサービスを実施できるように「出向く保健所」をコンセプトに見直しを行いました。小菅保健センターは地域における公共施設を活用することで、同程度のサービス提供が可能になるとして、廃止させていただきました。その時に、子育て支援拠点施設にふさわしい機能を残すという説明をしてきたと思います。その一環としまして、子育てというコンセプトの中で、乳幼児健診、育児学級、健康講座などを実施することで、保健センター機能の一部について、子育て支援拠点施設で実施していくことで、ご理解を頂きたいと思っております。

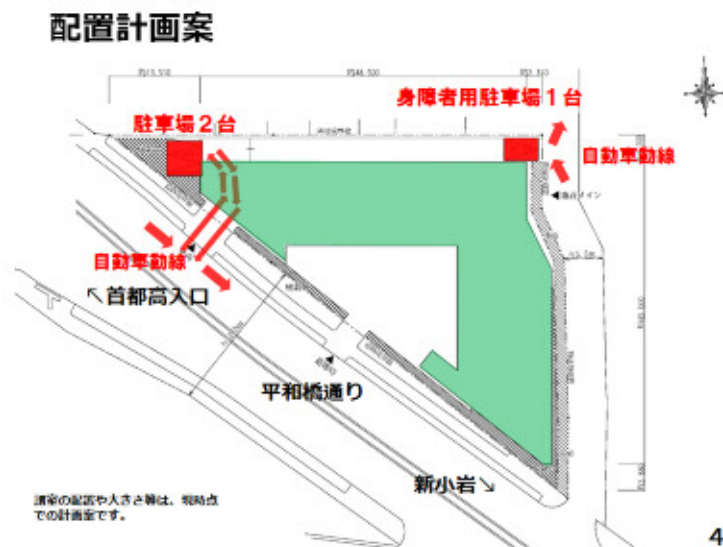
駐車場の整備に関するご意見・ご質問

Q：車で来る人はいるのでしょうか。

A：車で来られる方も想定して、台数は確保したいと考えております。路上駐車をすることで近隣の方々にもご迷惑をおかけすることがないように、駐車場は確保するという考えでございます。

Q：高速道路側にも駐車場を2台設けると説明がありましたが、どのように出入りするのでしょうか。また、歩道を歩行する人も多いので、首都高速側に駐車場を2台設けるのは危険だと思います。

A：出入りについては、車が入れるように歩道を一部切下げる形になります。また、駐車場を整備する際には、見通しや安全性を確保してまいりたいと考えております。
(下図は当日説明会にて活用したスライド)



Q：歩道は二人がすれ違いするだけでも大変です。身障者用駐車場のスペースに駐車スペースを増やした方が良くと思います。

A：2台分の駐車スペースについては、開口部の広さを取るなどして、安全の確保・確認が行いやすい設計を進めてまいります。身障者向けの駐車スペースをさらに広げますと、土地を有効に活用した建物の建替えが難しくなってまいります。建物全体の有効活用するため、また施設を利用される自転車との交錯が無いような動線計画にするには、この形がよいと考えております。

Q：新しい建物は、保育園、児童館と保健センターの機能も一緒になっており、健診も新しい建物で行うということですね。小菅保健センターでの健診の際、車が結構来ていたように思いますので、駐車場の台数が大丈夫なのかなと思いました。

A：駐車場の台数については、少ないというご意見もあるかもしれませんが、これまでの保健センターで行っていた成人向けの相談や健診は行わないことから、利用頻度は低くなると想定しております。駐車スペースは多いに越したことはありませんが、土地の形もあまり良い形ではありませんので、3台が限界となっております。ご理解を頂きたいと思っております。

その他のご意見・ご質問

Q：ご近所の皆さんは高齢の方が多く、夜遅くの説明会に来るは大変だと思います。昼間にも説明会があったらいいと思います。

A：工事説明会の際には、考慮させて頂きたいと思います。

Q：近隣の方と直接会って話をしたと、説明がありましたが、私は知りませんでした。

A：近隣の皆様に、アンケート用紙をお配りした際等、お会いできた方にはお話をお聞きしたということでございます。

Q：仮園舎の図面と工程表が無いので、どうなっているか教えてください。

A：第一回の説明会では、仮園舎と新園舎の説明を一緒にさせて頂きました。そこで、「説明が一緒だと分らない」というご意見も頂きましたので、今回は新しい園舎だけの説明とさせて頂きました。仮園舎につきましては、7月10日の説明会でもご説明させて頂きましたとおり、以前、アスベスト工場跡地ということで、7月20日に地質調査を行いました。その結果が8月に出てきて、危険な物質は検出されませんでしたので、その後、詳細な設計を進めさせて頂いております。また、今まで、近隣の方からご意見を頂いておりました安全な動線の確保や音に対する対応などの、再設計をさせて頂いており、工事着手が遅れております。年明けには、工事説明会を開催させて頂き、工事に入っていくというスケジュールでございます。配布資料のスケジュールにありますように、来年度には今の保育園・児童館の解体工事を行う予定ですので、解体工事前には、仮園舎に引越すこととなります。

Q：今の建物はアスベストの問題はないのでしょうか。

A：現在園舎がある三角形の敷地も、かつては旧小菅保健センターの敷地と一体の四角い敷地であったものが、道路によって分断された経緯があります。そのため、現園舎の土地についても、解体工事に合わせて地質調査を改めて行い、安全性の確認をしてから、進めていくという予定でおります。

以上